

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	コタ株式会社(仮称)研究棟新築計画	階数	地上4F
建設地	京都府久世郡久御山町	構造	S造
用途地域	法22条地域	平均居住人員	56人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,650時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年4月 予定	評価の実施日	2021年4月30日
敷地面積	1,159 m ²	作成者	プラス株式会社
建築面積	679 m ²	確認日	
延床面積	2,297 m ²	確認者	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.9 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆ 100%超

標準計算

①参照値	138 (kg-CO ₂ /年・m ²)	100%
②建築物の取組み	46	83%
③上記+②以外の	46	83%
④上記+	46	83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Qのスコア = 3.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.2

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項

項目	内容	その他
各項目で可能な限り環境負荷の低減を図る		0
Q1 室内環境	音、温熱、光、空気質に配慮した計画とする	
Q2 サービス性能	機能性に関して使いやすさ等に配慮した計画とする 耐用性・信頼性に関しては可能な限り長寿命な設備の導入 対応性・更新性に関して設備に関しての更新性に特に配慮	
Q3 室外環境(敷地内)	緑地等を前面道路側に配置し、周辺環境へ配慮する	
LR1 エネルギー	建築物自体の性能を高める計画とする	
LR2 資源・マテリアル	リサイクル材料等を積極的に利用する	
LR3 敷地外環境	大気汚染防止に努めるとともに、駐輪所の設置等交通負荷低減を図る	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される